

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 28 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

新潟焼山では、2015 年夏頃から噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12 月下旬からは噴煙量も多くなっています。また、地震回数は 2015 年以降やや増加しています。

8 日に実施した現地調査では白色の噴煙がやや高く上がっているのを確認しましたが、その他火口周辺に特段の異常は認められませんでした。

今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3、図 5 - ）

8 日に実施した現地調査では白色の噴煙がやや高く上がっているのを確認しましたが、その他火口周辺に特段の異常は認められませんでした。

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、昨年（2015 年）夏頃から、山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、一時的には火口縁上 200m 程度まで上がっています。また、昨年（2015 年）12 月下旬からは噴煙量も多くなっています。

・地震や微動の発生状況（図 5 - 、図 6～7）

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。2015 年以降の地震回数は、前年（2014 年）以前と比べてやや増加しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 1、図 5 - ）

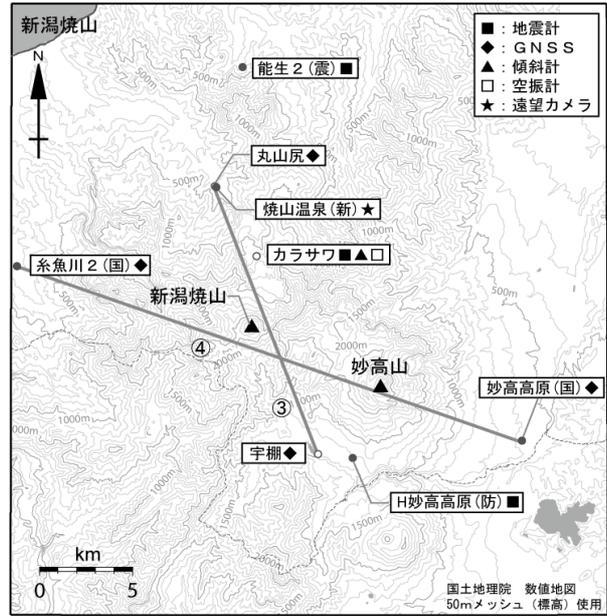
GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 3 月分）は平成 28 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『電子地形図（タイル）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

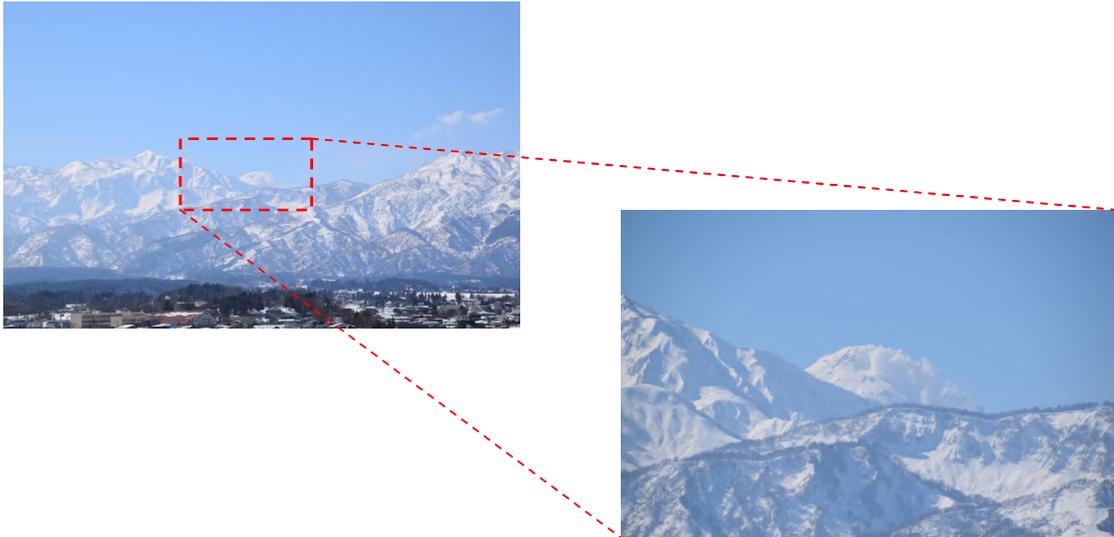


小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

図1 新潟焼山 観測点配置図
 (GNSS 基線 は図5の に対応しています。)



図2 新潟焼山 山頂部の状況
 (2月12日 焼山温泉監視カメラによる)



2016 年 2 月 8 日 12 時 29 分撮影（右図：左図の赤枠内の拡大）

図 3 新潟焼山 現地調査における山頂周辺の状況

- ・ 8 日に実施した現地調査では、白色の噴煙がやや高く上がっているのを確認しましたが、その他火口周辺に特段の異常は認められませんでした。

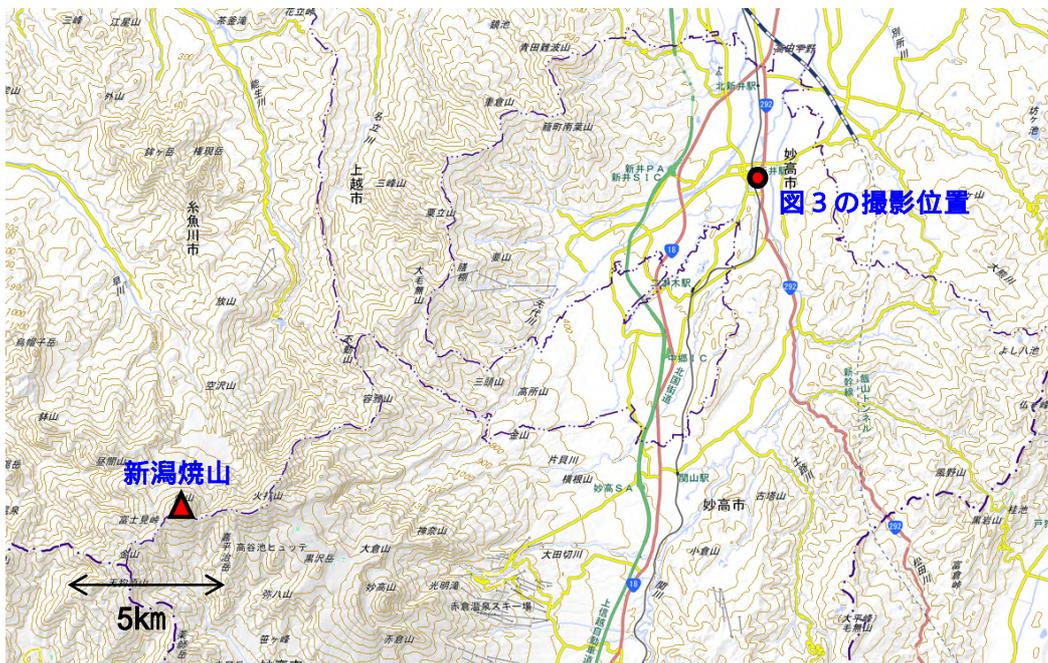


図 4 新潟焼山 図 3 の撮影位置

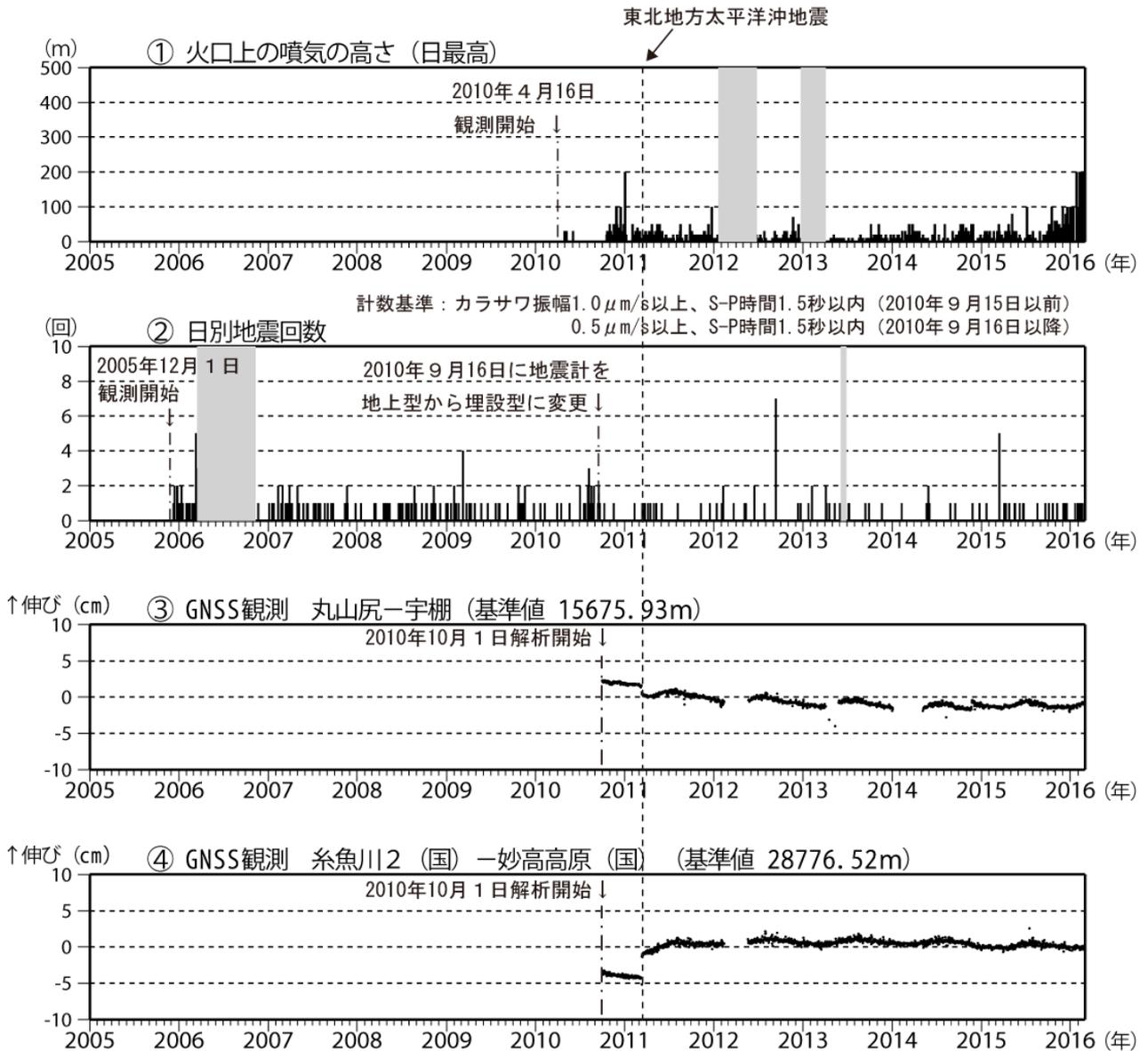


図5 新潟焼山 火山活動経過図（2005年1月1日～2016年2月29日）

- ： 定時観測（09時・15時）による日別最高の噴気の高さ
- ・ 昨年（2015年）夏頃から噴煙の高さがやや高く上がる傾向がみられます。
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ： 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ： GNSS連続観測結果（国）： 国土地理院
- ・ の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ は、図1のGNSS基線に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

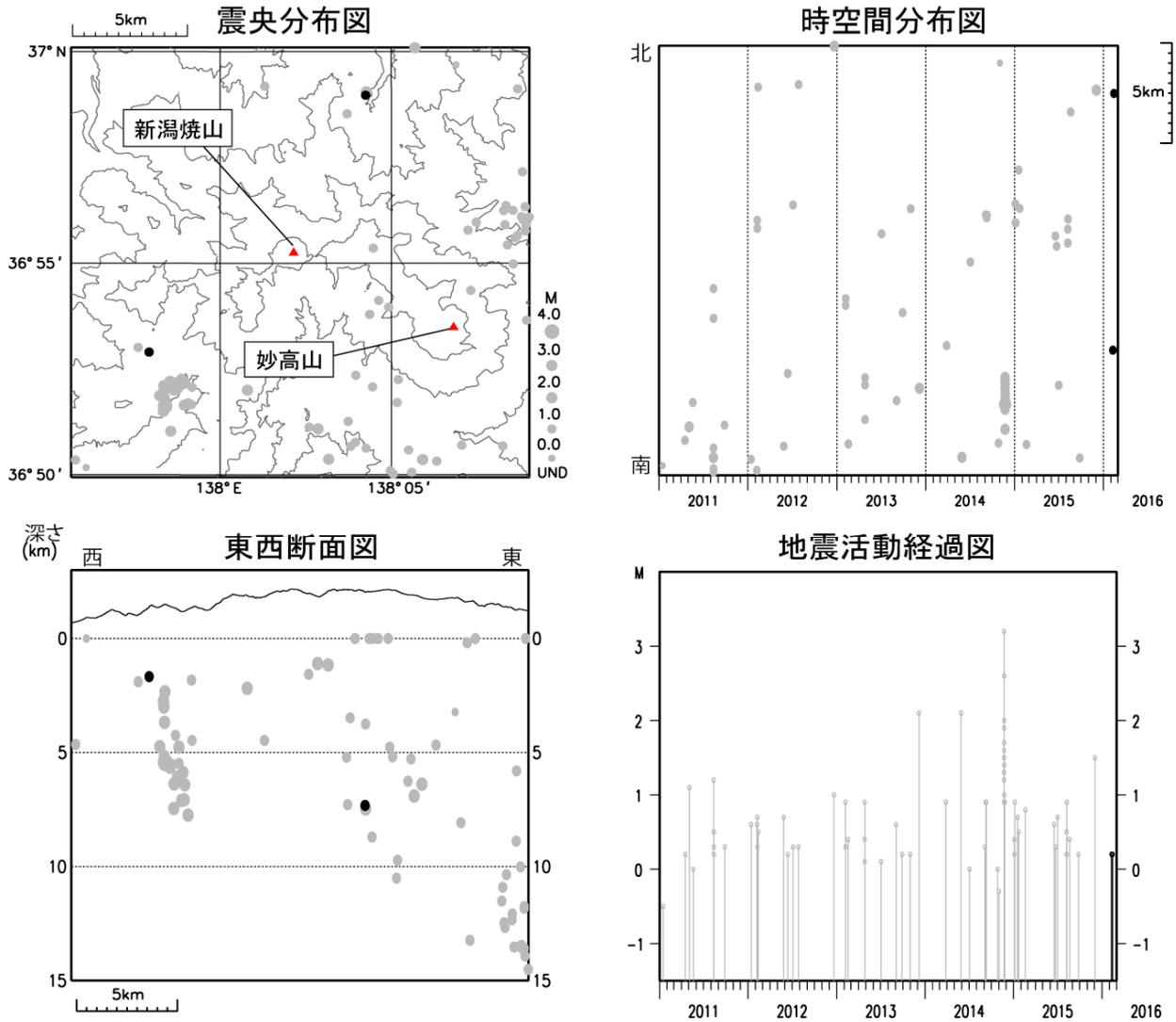


図 6 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011 年 1 月 1 日～2016 年 2 月 29 日）
 : 2011 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日 : 2016 年 1 月 1 日～2 月 29 日
 ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

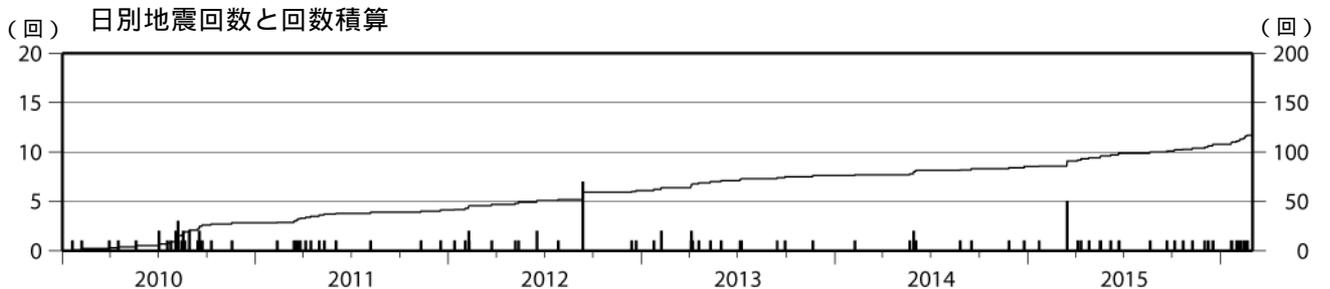


図 7 新潟焼山 日別地震回数と回数積算（2010 年 1 月 1 日～2016 年 2 月 29 日）
 左軸は日別地震回数、右軸は積算回数
 ・ 地震回数は、2015 年 3 月以降 2013～2014 年頃と比較してやや増加しています。